

# 防災を考える日

～11月のテーマ「土砂災害から命を守る」～

## 内容

- 1 今月のテーマ
- 2 前兆現象に注意しましょう
- 3 雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意
- 4 土砂災害警戒情報が発表されたら

"災害から身を守るために  
確実な方法は、早めの避難です。状況に応じ、危険を察知して自分の身を守ることが大切です。"



11.5 土砂災害避難訓練の様子

### 気仙沼市総務部危機管理課

988-8501

宮城県気仙沼市八日町1-1-1

#### 電話番号:

0226-22-3402

#### FAX 番号:

0226-22-1467

#### 電子メール:

kikikanri@kesenuma.miyagi.jp

※メールアドレスが変わりました。

## 今月のテーマ

「防災を考える日」の今月のテーマは、「土砂災害から命を守る」です。

今回は土砂災害から身を守るために必要なことについて、皆さんで話し合ってみましょう。

土砂災害は、ひとたび災害が発生すると、一瞬にして多くの人命や住宅などの財産を奪ってしまいます。土砂災害に対して日ごろから備えておくことが重要です。

## 前兆現象に注意しましょう

土砂災害には、「がけ崩れ」「地すべり」「土石流」の3つの種類があり、前兆現象に気づいたら、周囲の人にも知らせ、いち早く安全な場所に避難することが大事です。

### (1) がけ崩れ

がけからの水が濁る。がけに亀裂が入る。石がバラバラ落ちてくる。木の根が切れる、岩が割れる等の音がする。

### (2) 土石流

山鳴りや、立木の裂ける音、石のぶつかる音が聞こえる。雨が降り続けているのに川の水位が下がる。川の水が急に濁ったり、流木が混ざりはじめる。

### (3) 地すべり

地面にひび割れができる。沢や井戸の水が濁る。斜面から水が吹出す。

## 雨が降り出したら土砂災害警戒情報に注意

土砂災害警戒情報は、大雨による土砂災害発生危険度が高まったときに、県と気象庁が共同で発表します。市では、携帯電話などに土砂災害警戒情報を配信しています。

## 土砂災害警戒情報が発表されたら

土砂災害警戒情報が発表されたら、避難勧告などが発令される可能性が高い状況です。市からの情報に注意してください。

お年寄りや障害のある方など避難に時間がかかる人は、移動時間を考えて早めに避難することが大事です。どうしても避難場所への移動が困難な場合は、近くの頑丈な建物の2階以上に避難するか、がけから離れた部屋や2階などに避難しましょう。

